

技術支援の実績紹介

鉄道技術推進センターでは、鉄軌道事業者・鉄道関連企業等からのご相談に対し、Eメール等によるアドバイス、現地調査および講演・講習を行っています。

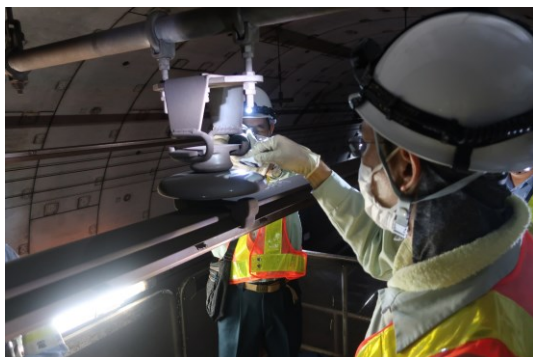
今回は、「剛体電車線の碍子破損に関する現地調査」と「VR技術を用いた車掌の安全確認技量の評価手法」の技術支援をご紹介します。

【剛体電車線の碍子破損に関する現地調査】

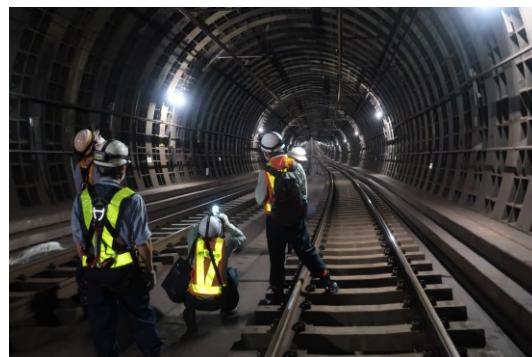
ご相談内容は、剛体電車線の碍子が破損した事象について原因調査に協力してほしい、という内容でした。鉄道総研の研究員を現地に派遣し、下記の項目について調査を行いました。

- ・ 会員様の設備担当者への聞き取り調査
- ・ 損傷品の調査
- ・ 事象発生箇所付近の設備の調査

以上の調査から、想定される碍子破損の原因と対策を資料にまとめ、会員様に提示しました。



現地調査の様子①



現地調査の様子②

【VR技術を用いた車掌の安全確認技量の評価手法】

ご相談内容は、車掌の安全確認について教育効果や実態を客観的に判断したいとお考えの会員様から、鉄道総研で実施している研究内容について詳しく伺いたいという内容でした。

会員様との打合せの場を設定し、鉄道総研の研究員から「VR技術を用いた車掌の安全確認技量の評価手法」についての研究内容をご説明しました。また、質疑応答を通して、詳細な研究内容、留意事項、導入コスト、導入までに必要な事項等についてお伝えしました。



車掌 VR システムの概要

技術支援のご案内

鉄道技術推進センターでは、技術支援の相談窓口を設けて、会員の皆様からのご相談に対応しております。

技術支援の内容は下図のとおりで、いずれも無料で行っています。

1 Eメール等による アドバイス	2 現地調査	3 講演・講習
		
全会員対象	鉄軌道事業者対象	鉄軌道事業者対象
鉄道技術に関するお問い合わせについて、鉄道総研の研究者の見解や参考文献をEメール等でお送りします。	現地を訪問のうえ、鉄道総研の専門分野の研究者が設備診断やアドバイスを行います。また、レールアドバイザー※が豊富な実務経験に基づくアドバイスを行います。	依頼頂いたテーマの専門家である鉄道総研の研究者やレールアドバイザー※が講演や講習を行います。

※レールアドバイザー

鉄軌道事業者OB等の、深い知見と豊富な実務経験を有する鉄道技術者がレールアドバイザーに就任しており、中小鉄軌道事業者会員を対象に、現地を訪問のうえアドバイスや講演等を行っています。

技術支援担当者のご案内

2025年度の技術支援担当者は下記のメンバーが担当しています。

お困りの際は、お気軽にお問い合わせください。

◆ 技術支援の相談窓口

やしろ
野城（総括・技術支援全般）

ししど
穴戸（車両担当）

もうり
毛利（電力・信通・その他担当）

しみず
清水（軌道担当）

なかた
中田（構造物担当）

おぐろ
小黑（構造物・軌道担当）

◆ 技術支援のお問合せ先

TEL : 042-573-7236

Email : shien-ml@rtri.or.jp

鉄道設計技士試験に関するお知らせ

◆ 2025 年度鉄道設計技士試験の公示

2025 年度の鉄道設計技士試験の実施に関する公示を 4 月 1 日（火）に行いました。

試験日は 10 月 26 日（日）です。受験案内・受験申請書の配布及び受験申請の受付期間は、いずれも 6 月 10 日（火）～7 月 7 日（月）です。受付案内・受付申請書は、この期間、鉄道設計技士試験のウェブサイトよりダウンロードできます。

受験申請は、郵送にて受け付けます。なお、提出書類に不足があった場合や受付期間を過ぎて申請した場合には受理されませんので、余裕を持って申請してください。詳細につきましては、鉄道設計技士試験の公示のページをご覧ください。

◆ 試験問題の公開

2015～2024 年度の試験問題と解答例を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

【鉄道設計技士試験のウェブサイト】<https://www.rtri.or.jp/gishi/>

新メンバーのご紹介



やしろ かずひで
野城 一栄

4 月より鉄道技術推進センター管理課長を拝命致しました野城と申します。前職はトンネル研究室長で、技術支援でも研究室の立場で会員の皆様ともいろいろご一緒させていただきました。この経験を活かし、会員の皆様のお役に立てるよう取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。



あかつか はじめ
赤塚 肇

この 4 月から鉄道技術推進センターに配属となりました、赤塚と申します。以前にもセンターに勤務しており、約 5 年ぶり 2 回目の再登場です。鉄道安全データベースを担当いたします。よろしくお願いいたします。



しみず あつし
清水 惇

4 月より鉄道技術推進センター兼務となりました清水と申します。本務は軌道技術研究部軌道管理で、主に軌道関係の技術支援業務を担当いたします。会員の皆様のお役に立てるように取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。



ししど あおい
穴戸 葵

4 月より広島電鉄から出向して参りました穴戸です。出向元では、車両のブレーキ制御装置や保安装置等の検査・保守をしておりました。車両に関する技術支援を担当いたします。会員の皆様のお役に立てるよう取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

協会等の会議に参加（3～4月）

2025 年 3～4 月にかけて、日本民営鉄道協会等が主催する会議に参加し、鉄道技術推進センターの活動を紹介しました。また協会様のご要望を伺い、各種技術講演を実施しました。

	参加した会議	場所	講演タイトル
3 月	日本鉄道運転協会 四国支部総会	高松	加齢の運転作業への影響と 高齢運転士の活用
	日本民営鉄道協会 第 13 回 車両担当委員会議	熊本	鉄道車両における最近の技術開発について ～台車部品の探傷自動化のための きず抽出手法～
4 月	関西鉄道協会 運転専門委員会	大阪	ヒューマンエラー防止 ～確認ミスと失念防止～
	地下鉄技術協議会 総会	仙台	—

基本計画－持続可能な鉄道システムの創造－RESEARCH 2030

がスタートしました。

鉄道総研は、ビジョン「革新的な技術を創出し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献します」を実現するため、2025 年度からの 5 年間の活動計画として「基本計画－持続可能な鉄道システムの創造－RESEARCH 2030」を 4 月からスタートさせました。

新たな基本計画では、鉄道システムの更なる安全性向上、特に激甚化、広域化、頻発化する自然災害に対する強靱化を最優先の課題としつつ、先端技術を活用した省人化や脱炭素化などの諸課題に対して総合力を発揮して重点的に取り組みます。また、基礎から応用、社会実装の支援に至るまで研究開発をシームレスに推進するとともに、鉄道事業者や外部研究機関との連携を促進します。

新たな基本計画は弊所のウェブサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【基本計画】 https://www.rtri.or.jp/rtri/rtri_J_research.html （QR コード→）

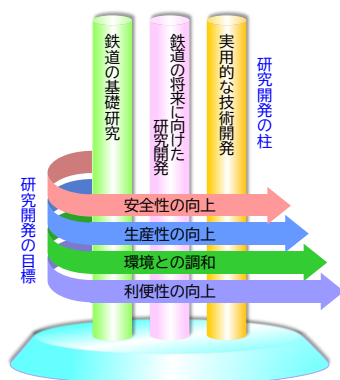


図 1 研究開発の目標と柱



図 2 鉄道の将来に向けた研究開発

【会社概要】

東葉高速線は、1996 年 4 月に開業し、千葉県船橋市の西船橋駅から八千代市の東葉勝田台駅までの 16.2 km を結ぶ路線で、東京メトロ東西線と相互直通運転を行っています。

当社沿線は、開業後に駅周辺での土地区画整理事業をはじめとした開発が進められたこともあり、その発展は目覚ましく、今もなお沿線地域の人口は増加傾向にあります。

これに伴い、開業当時には 1 日平均で約 7 万人だった利用者数も現在では約 15 万人まで増加し、日々多くのお客さまにご利用いただいております。

【地域との共存共栄】

当社は、地域との共存共栄に向け、各種イベント等の開催を通じて地域との交流や魅力発信に努めています。

毎年、車両基地を一般のお客さまに開放する「東葉車両基地まつり」では車両展示やグッズ販売をしています。さらには、沿線地域の子どもたちに当社のファンになっていただくことを目的に、各部門によるお仕事紹介や「子ども制服撮影」など子どもが楽しめるイベントを多数実施しています。

また、東京メトロ東西線と直通運転を行っている強みを活かし、沿線の観光施設である京成バラ園のバラが見頃を迎える春には、当社車両の中吊りスペースをバラのポスターで埋めつくした「東葉ローズトレイン」を運行し、当社沿線のみならず通勤・通学で東京メトロ東西線をご利用されるお客さまへ向けて、八千代市の市花でもある「バラ」の PR を行っています。

そのほかにも、毎年沿線の名跡や自然豊かな場所をウォークコースにまとめて紹介する「東葉健康ウォーク」の開催など、沿線地域の活性化に寄与する取り組みを継続的に実施しています。



【開業 30 周年に向けて】

当社は 2026 年 4 月に開業 30 周年を迎えます。「用事が無いと乗る機会がない」というイメージを持たれがちな当社ですが、5 月から 6 月にかけて京成バラ園の春バラが見頃を迎えるほか、秋には「東葉車両基地まつり」の開催も予定しております。皆さまのご乗車を心よりお待ちしております。



鉄道グッズご紹介 その8

価格・販売箇所等の商品詳細は変更が生じる可能性がありますので、公式サイトをご確認ください。

画像・文引用元：

山万株式会社公式サイト

<https://yukariline.thebase.in/>



山万ユーカリが丘線

【今治タオル】 キャラクターハンカチ



YLG(Yukari-Line-Girls)の浴衣イラストを使用したタオルハンカチです。

価格 : 1,500円(税込)
販売箇所: オンラインショップ

駅名キーホルダー



ユーカリが丘線駅名キーホルダー(ユーカリが丘駅・公園駅・女子大駅)です。

価格 : 500円(税込)
販売箇所: オンラインショップ

こあら号キーホルダー・ イヤホンジャック



こあら号のボールチェーンキーホルダーとイヤホンジャックです。

価格 : 300円(税込)
販売箇所: オンラインショップ

でんたま



山万ユーカリが丘線「こあら号」のでんたまです。うしろに引くと走る、転がっても起き上がるかわいいたまごの形のおもちゃです。

価格 : 800円(税込)
販売箇所: オンラインショップ

鉛筆1ダース



こあら号のイラストが描かれたオリジナル鉛筆12本入(1ダース)です。2B芯なので柔らかく書きやすくなっております。

価格 : 600円(税込)
販売箇所: オンラインショップ

※ランダムで手製の鉛筆箱が付属します。
※3本入200円の販売は行っておりません。

ふせんセット



山万ユーカリが丘線のオリジナルふせんセットです。こあら1号、2号、3号のそれぞれのイメージカラーのふせん色、3色50枚のセットとなります。

価格 : 300円(税込)
販売箇所: オンラインショップ

編集後記

皆さん、大型連休でリフレッシュできましたでしょうか。当センターでは5月開催の企画協議会が迫っており、休日でもなんとなく落ち着きません。落ち着いたらチーズナンを食べに行きたいです。(A)

2025年度 鉄道関連協会 主催講習等のスケジュール

月	【車両・運転】	【電 気】	【土 木】
4			
5	◎5/14-15【総】技術講座〔WEB〕 「新入社員のための鉄道技術概論」	◎5/14-15【総】技術講座〔WEB〕 「新入社員のための鉄道技術概論」	◎5/14-15【総】技術講座〔WEB〕 「新入社員のための鉄道技術概論」 ◎5/21【総】月例発表会（日本工業倶楽部） 「鉄道地震工学に関する最近の研究開発」
6	◎6/11～13【運】 「運転設備研修講座」		
7	◎7/28-29【総】技術講座〔WEB〕 「鉄道車両技術概論」	◎7/17【総】月例発表会（日本工業倶楽部） 「信号技術および情報通信技術に関する最近の研究開発」 ◎7/25【総】7月25日(金)技術講座〔WEB〕 「き電概論(直流編)」	
8	◎8/19～22【運】 「運転理論（運転曲線）講習会」 ◎8/28-29【総】技術フォーラム	◎8/28-29【総】技術フォーラム	◎8/28-29【総】技術フォーラム
9	◎9/10～12【運】 「運転法規研修講座」		◎9/26【総】技術講座〔WEB〕 「鉄道技術者のための地震工学・耐震設計概論」 ◎9/29【総】技術講座〔WEB〕 「軌道の設計・施工と維持管理の基礎1（バラスト軌道・軌道管理）」 ◎9/30【総】技術講座〔WEB〕 「軌道の設計・施工と維持管理の基礎2（レール・レール締結装置・分岐器・省力化軌道）」
10	◎10/8～10【運】 「運転関係指導者研修会」（前期） ◎10/12～13【三】 「鉄道フェスティバル」（東京お台場） ◎10/22～24【運】 「運転関係指導者講習会」（後期）	◎10/12～13【三】 「鉄道フェスティバル」（東京お台場） ◎10/31【総】技術講座〔WEB〕 「鉄道におけるデータ分析・画像処理入門」	◎10/12～13【三】 「鉄道フェスティバル」（東京お台場）
11	◎11/12【総】月例発表会（日本工業倶楽部） （人間工学） ◎11/13～14【運】運転業務研究発表会 ◎11/19【総】技術講座〔WEB〕 「安全の人間科学概論」 ◎11/26～29【三】 「第9回鉄道技術展」（幕張メッセ）	◎11/26～29【三】 「第9回鉄道技術展」（幕張メッセ）	◎11/18【総】技術講座〔WEB〕 「鉄道防災技術概論」 ◎11/27【総】技術講座〔WEB〕 「鉄道橋りょう・高架橋の維持管理概論」 ◎11/28【総】技術講座〔WEB〕 「鉄道トンネルの維持管理概論」 ◎11/26～29【三】 「第9回鉄道技術展」（幕張メッセ）
12	◎12/17【総】月例発表会（日本工業倶楽部） （車両技術）	◎12/1【総】技術講座〔WEB〕 「電車線とパンタグラフ概論」	
1		◎1/15【総】月例発表会（日本工業倶楽部） （電力技術、浮上式鉄道） ◎1/21【総】技術講座〔WEB〕 「信号通信技術概論」	
2	◎2/5～6【運】 「運輸業務管理ゼミナール」		
3			

※注)

スケジュールは変更となる可能性があります。

最新のスケジュールは、直接各協会の窓口へご確認くださいませようようお願い申し上げます。

【三】第三セクター鉄道等協議会
【運】日本鉄道運転協会
【総】鉄道総合技術研究所